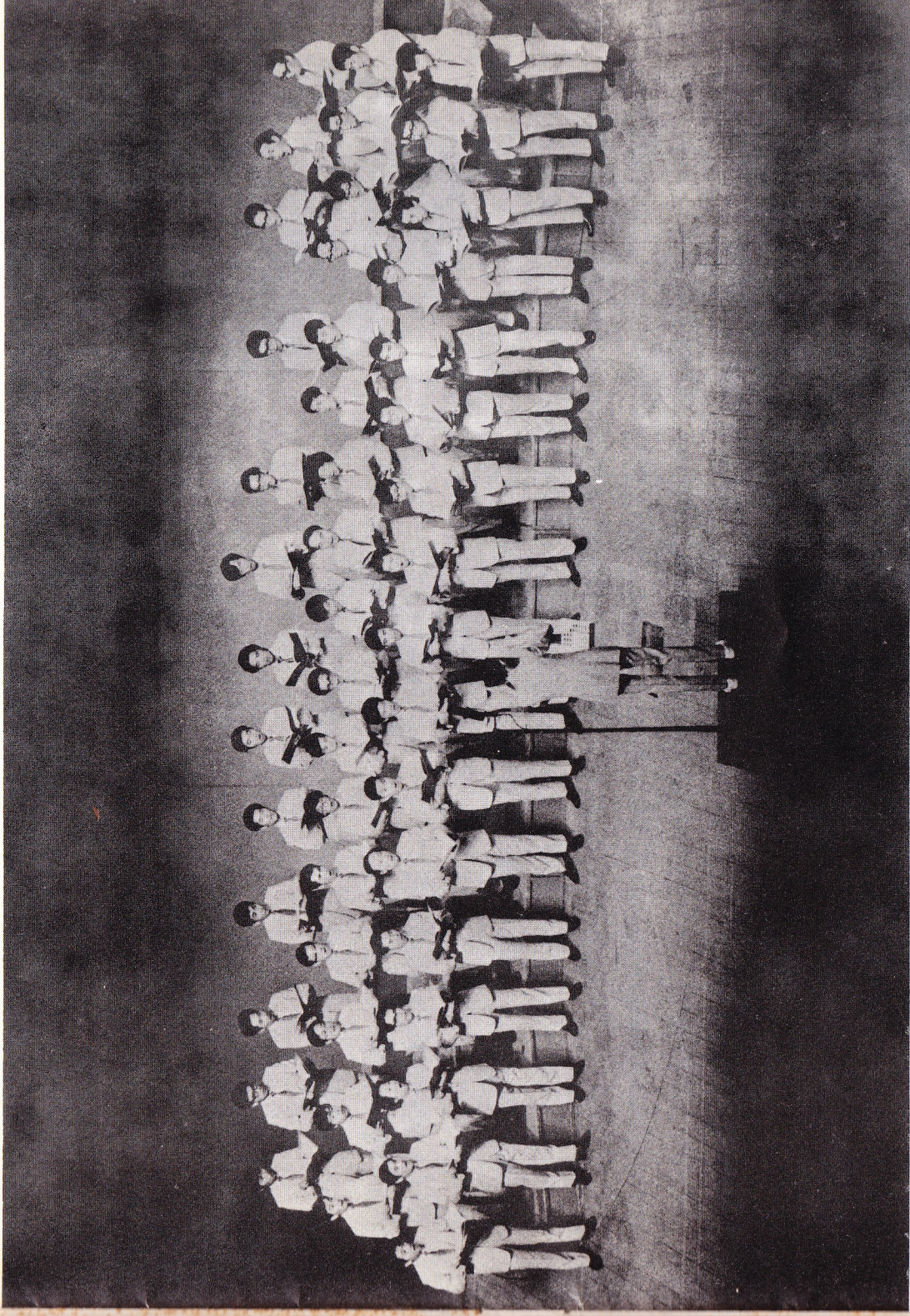


DAWARA
DANSI
DANSI

4

Regular Concert



小田原男声合唱団
第4回定期演奏会

月

1975年6月28日(土)6:30P.M

小田原市民会館大ホール



小田原男声合唱団

代表者 青野正純

ライトブルールのユニフォームも、いつしか、合唱界の皆様にしみをもって、接して戴くようになり、数えて四回目、団の新しい年輪が刻まれる定期演奏会の日がまいりました。荒けずりで、どなりまくるかと思うと、指揮者に押えられ、急に、萎縮してオタオタ・バラバラになって指揮者を苦笑させる練習風景は相変らずですが、定期演奏会をめざして一生懸命練習し、今日を迎えます。

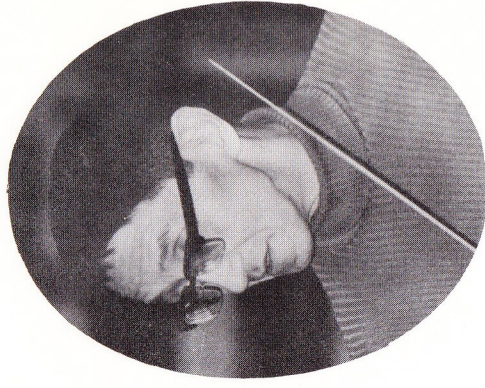
小田原男声も4年目に入って、色々と新しい活動をするようになりました。即ち、日本男声合唱協会(日本全国より6団体で構成)に加入し、名古屋での演奏会に出演、上野文化会館に於ける「知られざる名曲の夕、に大磯小合唱団と共演、組曲「雨」のレコーディング(東芝レコード)更に本年8月に藤沢でベルデリのレクイエムの合唱参加等。然し一方、こういう表面に現れる活動を支える背景を大切にし、基礎をしっかりとさせてゆこうと努力しております。その努力とは、「合唱の犠牲性をつくるな」ということです。仕事、家庭、その他合唱とぶつかるとは、誰にでもあります。そのとき二者択一というようにせず、ぶつからないようにする工夫、別の形にする工夫、止む得ぬときはその影響を吸収する工夫などで犠牲迷惑をつくらぬ努力です。こういう姿で、小田原男声が周囲から理解支持されてこそ大人が合唱をやれるのだと考えております。そして私達は自分が原動力となりべストをつくせれば立派に合唱が出来ることが解りかけて来ました。

まだ今後課題はたくさんありますが、努力して良い演奏ができれば合唱団に成長したいと団員一同考えております。そして定期演奏会にそれをぶつけ、吟味して参ります。今後共よろしくお願ひ申し上げます。

本日、一同、心をこめステージに立ちます。

小田原男声合唱団常任指揮者

福永陽一郎



東京音楽学校（現芸大）本料ピアノ科出身。井口基成、豊増昇にピアノを、近衛秀麿に作曲、指揮、管絃楽法を、M・グルリットにオペラ指揮法を師事。1956年から9年間藤原歌劇団の常任指揮者として活躍し、「椿姫」「カルメン」「セビリアの理髮師」「トスカ」「蝶々夫人」等、数多くの公演を指揮している。日本初演のオペラ指揮も多く、日本のオペラ界に貢献した業績は内外に高く評価されている。

合唱音楽への造詣も深く、二期会合唱団、日本合唱協会への出演や、東京放送合唱団とは演奏会のほか放送も数多い。アマチュア・コーラスに対する理解と情熱も深く、小田原男声合唱団以外にも、法政大学、同志社大学の常任指揮者であるほか、客演指揮、講師、審査員として合唱音楽向上のため、日本各地で精力的に活躍している。また合唱用の編曲も数百曲におよび、東芝レコードなどから数多くのレコードを出版している。昨年5月、同志社大学グリークラブをつれてアメリカ各地に演奏旅行をし、日本の男声合唱の実力を披露、好評を博した。

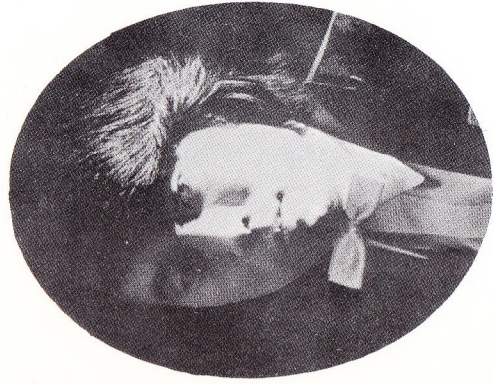
合唱のよろこびを

福永陽一郎

「このごろ私たちは、楽しみを追うことには熱心で急であるけれども、よろこびを得ようとするのを忘れているのではないだろうか……」。先日ある会で、こんど神奈川県知事になられた長洲一二教授が、こういう趣旨のことを話されたのを聞いて、私はいまさらのように忘れていた初心をとりもどしたような気にさせられました。合唱団の運営はどこへいっても決してラクなことではあり得ませんが、苦しいとき、えてして口に出るのは『楽しいコーラスをやらう』ということです。この合唱団のモットーは“楽しいコーラス”です、とも言います。

楽しくて悪いわけはありませんが、楽しみだけを追い求めていると“疲れ”がくるものです。しかし、“よろこび”のあるところにはだたたらどうでしょう。これは単なる言葉のあそびではないと思います。

小田原男声も、スタートの頃は楽しいと思うことが多かったのです。年月が経過して、誰が一人でも“疲れ”をおぼえるようではいけない、と、常に“よろこび”のある合唱団でありたいと念願する今日この頃です。



伴奏者

久邇之宣

昭和47年国立音楽大学ピアノ科卒業。クロイツァー豊子に師事。二期会研究生、東京室内歌劇場などでピアニストをつとめる。伴奏ピアニストの新進として、多くの演奏会で活躍されている。

小田原男声合唱団にも第2回定演より伴奏をされ、各合唱コンクールをも担当された。26回合唱コンクール全国大会（岡山）で、シュノーベルトの男声合唱曲集を歌って銅賞受賞の栄誉を受けたのも、彼の伴奏の功績に負うところが大きい。



独唱（メゾ・ソプラノ）

長野羊奈子（ながの・よなこ）

（二期会々々員）

東京芸術大学卒業。畑中良輔に師事。1958年、ドイツ政府交換留学生として渡独。ベルリン音楽大学にてブラヴァッチェに師事。1962年卒業。1963年より、ベルリン・ドイツ・オペラ劇場と契約し、多くのオペラに出演。その間各地でのコンサート、リサイタル、ラジオ及び、ドイツ・グラモフォンの吹込みに活躍。又、1963年のベルリン・ドイツ・オペラ来日公演では「ヴォツェック」のママルグレートを演じた。1965年帰国。以後、同年11月のリサイタルを皮切りにコンサートでは主要オーケストラとの協演で目覚ましい活躍を示し、オペラでは'69年の「フィガロの結婚」（ケルビーノ）、「ジュリアス・シーザー」（コルネリア）、「パルジファル」（クンドリー）、「68年の「オルフェオとエウリディケー」（オルフェオ）、「69年の「ラインの黄金」（フリッカ）、「70年の「フィデリオ」（レオノーレ）と、着々と高い成果をあげている。この間、1966年及び1970年のベルリン・ドイツ・オペラの来日公演にも協演している。他に東芝レコードから出たドイツ歌曲全集、ベーターベン全集に世界一流の歌手に互に録音し、1970年のリサイタルに対しては、同年度の文化庁芸術祭大賞が与えられており、その後も1971年には「こうもり」のオルロフスキーで新境地をひらき、「ナクソス島のアリアドネ」（R・シュトラウス）の作曲家という難役をこなし、'72年には「ワルキューレ」のフリッカを演ずるなど活躍を続けている。

小田原男声合唱団 ヴォイストレナー

大久保 昭男



昭和28年東京芸術大学音楽声楽科を卒業。矢田部勤吉氏に師事。近衛秀麿指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕筰自身の指揮によるオペラ「黒船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサルカ」等にも出演。昭和34年には、ドイツリード、日本歌曲による第1回リサイタルを開き好評を博した。現在、東京の松原混声合唱団、地元 of 湘南市民コール、大学では一応ワグネルソサエター、関西学院大学グリークラブ、同志社大学グリークラブのヴォイストレーナーと全国を精力的に活動し、日本の合唱音楽の向上に貢献している。

本年4月より出身大学である、芸大音楽部声楽科講師として後輩の指導に当たっている。

合唱団のあゆみ

昭和46年11月2日、市立城内小学校の音楽室に、力強いハーモニーが響き、小田原男声合唱団がスタートしました。今どき男声合唱をやりたい人がいるなんと、指揮者福永先生を喜ばせ、驚かせたメンバーは50名。先生のよき御指導を得て、翌年5月16日には待望の第1回定期演奏会を、所も同じこの市民会館において開くことができましたが、結成以来わずか6ヶ月、演奏会が開けるのだろうか、半信半疑、無我夢中で歌っているうちにステージが終了していたというのが、いつわらない団員の実感でした。まだ、長年の練習が産み出す、練られた声、細やかなハーモニーこそ希薄だったものの、男声合唱の本領であるダイナミックな歌声は大方の好評を得、一同意を強うした次第です。以後、関東合唱コンクールの金賞獲得、全国コンクール参加、藤沢市民交響楽団とのブラームス「アルト・ラプソディ」の共演(48.3)第2回定期演奏会(48.6)、全国コンクール銅賞獲得(48.11)小田原労音の「第九」例会出演。明けて49年にも、第3回定期演奏会(6月)、大磯小合唱団と共演のブルックナー「モテット」(12月「知られざる名曲」演奏会)等々、着実に歩み続けて来ました。そして、今日第4回定期演奏会を迎えた私たちは「ぼくが原動力」を合言葉にハーモニーの輪を広げて行きます。8月には終戦30年記念ヴェルディ「鎮魂ミサ曲」演奏会に参加、秋にはコンクール入賞の意欲を燃やし、管弦楽つきの大曲やミュージカル上演など、地域の音楽運動の中心としていつまでも積極的に活動を続けようと思っています。私たちの5周年への夢は限りなく広がって行くのです。

1 日本民謡集

- ソーラン節
- 牛追い唄
- 最上川舟唄
- 五つ木の子守唄
- おてもやん

2 合唱組曲「雨」

多田武彦作曲

- 雨の来る前
- 武蔵野の雨
- 雨の日の遊動円木
- 十一月にふる雨
- 雨の日に見る
- 雨

3 合唱組曲「水のいのち」

高田三郎作曲

- 雨
- 水たまり
- 川
- 海
- 海よ

120807-70

~~~~~ 憩 ~~~~~

4 シューベルト男声合唱曲集

- *Die Nacht*
- *Liebe*
- *Ständchen*
- *Die Nachtigall*

5 黒人霊歌集

- *Deep River*
- *Swing Low Sweet Chariot*
- *Nobody knows de trouble I see*
- *Listen to the Lambs*
- *Little Innocent Lamb*

## 日本民謡集

福永陽一郎

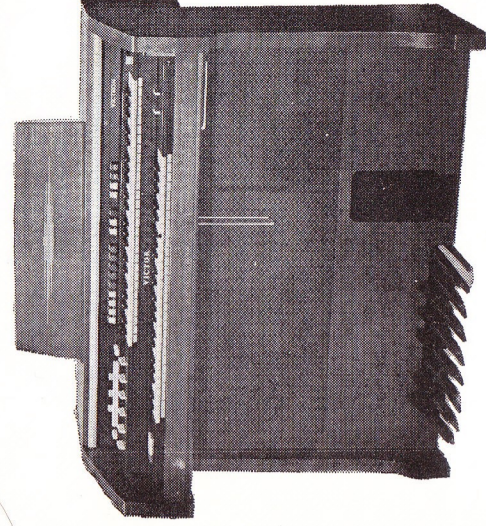
どこの国の合唱団でも、自国の民謡をうたわわない合唱団はひとつもないと言ってよいだろう。民衆の喜怒哀楽の声であり、祭りのにぎわい、労働の活力のアーヂェーションであるとするれば、民謡が“集団のための歌曲”であるのは当然だからである。

日本でも、民謡を合唱曲にしようという試みは、もう早くからおこなわれてきた。しかし、元来、民族の音楽本能としてはハーモニー感を持っていない日本で、つまり、かなり芸術的に高度に仕上がった江戸時代の舞台音楽においてさえ唄と三弦と笛と尺八などが大部分においてユニゾンでおとす音楽上の民族性を持つ国で、民謡の和音づけという作業はほとんどが否定的な結果しか生まない試行錯誤を、長いあいだくりかえしてきたのである。

さらに言えば、いま日本で合唱をやる人々の音楽素養は、例外はあるだろうが、一般的には日本の伝統音楽と無縁のところまで育てられたものだろう。ごく近年、義務教育のなかに伝統音楽がとり入れられたようであるが、いま合唱をやるような人は、むしろ日本の伝統音楽に背をむけてハーモニー感を身につけたからこそ、合唱ができるようになったとさえ言える。とすれば、日本の合唱団が自分たちの民謡をうたおうとすると、作曲編曲の側からも、矛盾と困難は避けられないと考えられる。

こゝ十年をそんなに越えないあいだに、事態は非常に好転した。三弦音楽における、開放弦の共鳴によって潜在的にひびいている和音の研究が進み、具体化の方法論が個別的ながら確立し、日本民謡の合唱化は、以前しばしばそうであったようには、音楽的な本質をそこなうことなく、またヨーロッパ音楽を経験したものにとって単純すぎるということもなく、演奏にも鑑賞にもたええられるものとなった。そのうえ、そのいくつかは、すでにスタンダードなレパートリーとして定着してきている。本日演奏される清水脩氏の作品と私のものはどれも、すでに日本中の男声合唱界に膾炙しているだけでなく、欧米にも紹介され、かの地の合唱団によってもしばしばうたわれていた合唱曲であり、もとの歌がポピュラリティの高いものだということだけでなく、合唱音楽としての構成に成功したものだと言える。

音を大切にする人が選ぶビクトロン



ビクターピアノ、ビクトロンのお求めは

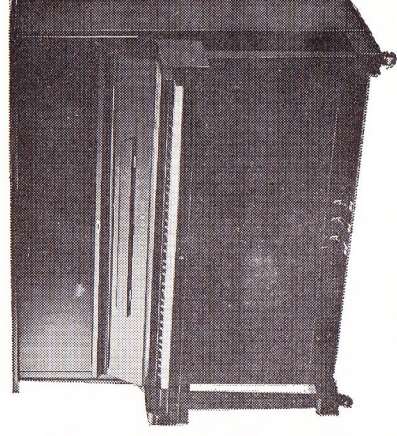
井上楽器

小田原おほりばた通り  
TEL 0465-24-0515



ビクター専属  
森 ミドリ

音楽産業ビクター。その、ひたむきな〈音の心〉の追求が創造したビクターピアノ。



日本ビクター(株)横浜特機営業所

横浜市中区翁町1-3-1 ☎651-1311(代)

「水のいのち」

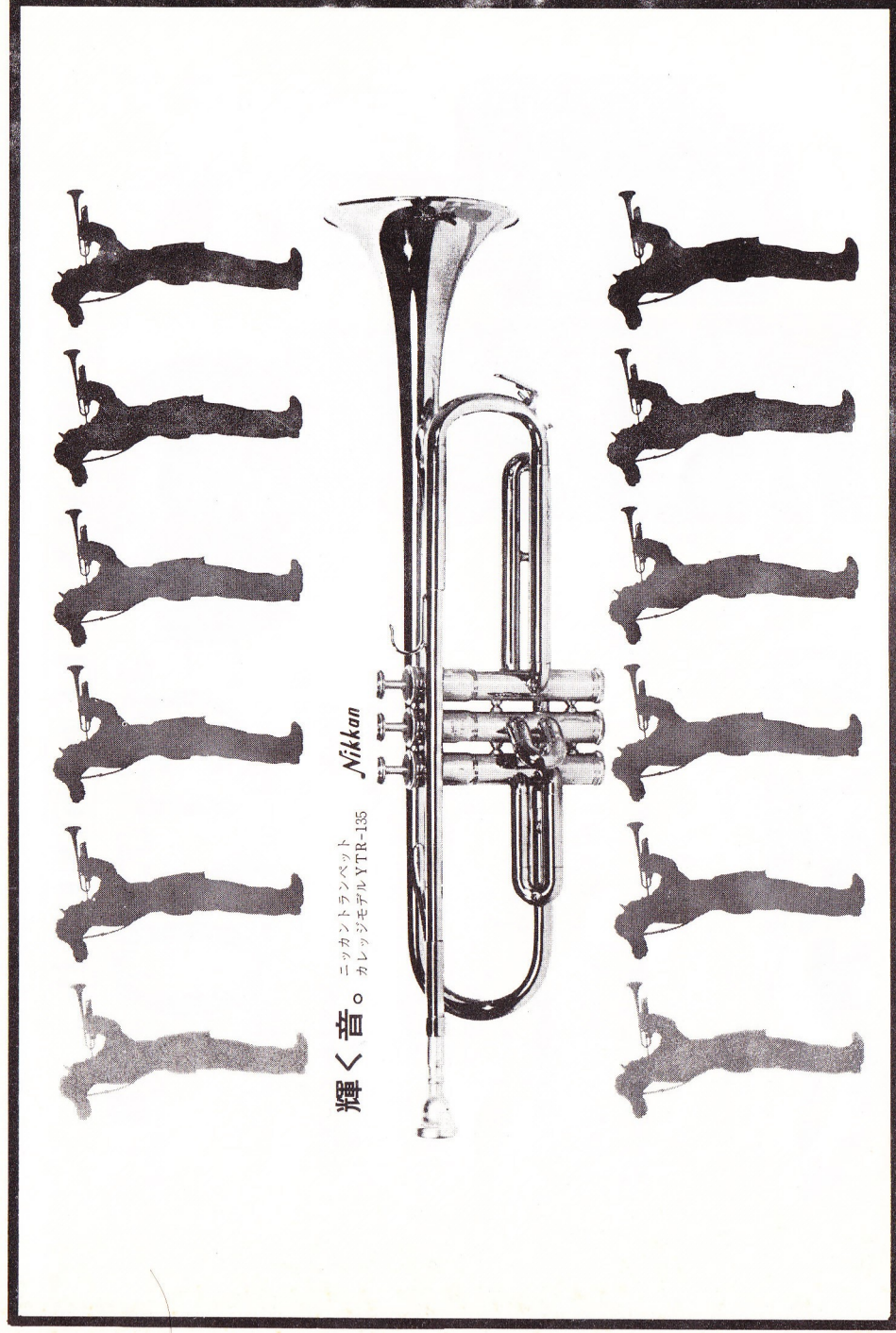
福永陽一郎

この組曲は、1964年、TBSの委嘱によって作曲され、山田一雄指揮の日本合唱協会によって放送初演されたものである。この年に作曲者の高田三郎(敬称略)は大きなカンタタータ「無声慟哭」も発表しているが、独唱と朗読をともなった五楽章よりなる管弦楽作品であるこの曲にも合唱が重要な役割をになっており、1956年、40歳を過ぎてから合唱曲に手をそめはじめたこの作曲家が、この分野における自己を確立したのが「水のいのち」の年と言ってもよいのではないだろうか。

高田三郎の混声合唱曲には「私の願い」という名作があるが、それが内容的にも技術的にも、やや、難渋な面を持っているのに対し「水のいのち」は“うたいやすく”“ハモリやすい”という、合唱団員の要求を十分に満足させる要素に富み、音楽的にも近寄りやすさがあるものと考えられる。しかも、水の流れに人生路という詩詞の内容もわかりやすく、出版されると同時に爆発的な人気を言ってよいほどの非常な好感をもって日本全国の合唱団からむかえられ、受け入れられた。この「水のいのち」以後、日本の合唱界には“高田三郎ブーム”が到来した、と言われたくらいである。その人気は作曲者自身の手による女声合唱用と男声合唱用の「水のいのち」が出版されるという結果を呼ぶにいたった。

個人的な話になるが、私は、高田三郎を決して流行作家になるような軽佻浮薄な作風の音楽家と考えていなかったの、この絶大な人気作品にとまどっていた。全国にこの曲をうたわれない合唱団はなく、合唱指揮者は競ってこの曲と交流または対決をしたがっているような風潮であったが、私は、楽譜を読んで調べたうえで、なおかつ、この曲の表面にある「大衆に手を差しのべたようなほゝえみ」に素直な共感が持てないでいた。私が常任指揮者をしている大学合唱団がこの曲をうたいたいがったとき、自分で指揮せずに客演指揮者を依頼したくらいである。

私の監修指揮する東芝レコードの「現代合唱曲シリーズ」が発足したとき、男声合唱曲「月光とピエロ」と同等の混声合唱曲としてこの「水のいのち」がとりあげられた。「月光とピエロ」は、レコードになる以前に数百回の舞台指揮を経験していたが、「水のいのち」はレコードが発売された時点で、まだ一度もステージで指揮したことがなかったのである。ところが、この「水のいのち」の私が指揮したレコードは、このシリーズ第一番の売上げ枚数を誇るという結果になった。



輝く音。ニッコントランペット  
カレッジモデル YTR-135

## 曲目解説

レコードでの私の指揮ぶりはレコードだけのもの、ステージではまたおのずと別なのであるが、日本全国で私のレコードの“型”の「水のいのち」がうたわれるようになったのには、またまた少々まいていいる。男声合唱で指揮するのは、今回がはじめてである。

## シューベルト男声合唱曲集

福永陽一郎

シューベルトが書いた世俗合唱曲の約100曲あまりのうちの70曲が男声合唱曲であることは、昨年の第三回定期演奏会のプログラムでもふれたとおりである。小田原男声では12年くらしいの長期計画で、シューベルトの男声合唱曲の全曲演奏に挑戦する。とも去年書いた。このことは、シューベルトが、アマチュアとはいっても、音楽的に高度に訓練されたグループを当てにして書いて書いているため、決して気安くとりくめることではない。一昨年、コンクールで「森の夜の歌」をうたって以来、むづかさしさはかえって増大してゆくように感じられるのは、それだけ理解が進んだということであろうか。

## 「愛」「夜」

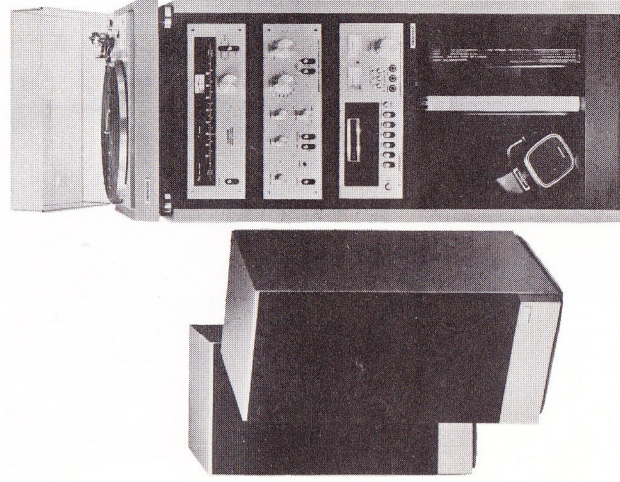
作品番号17. ドイチェ番号983

シューベルトは、1823年頃、すでに病氣だった。その年の8月14日付の手紙で、彼は、『かなり具合がいい』が『またすっかり健康になることがあるかどうか、ぼくはほとんど疑っている』と書いている。彼が社交を避けたことは、ペーヴェンクの甥がペーヴェンクの筆談用ノートに記入したことがらにもあらわれている。『世間ではシューベルトをひどくほめているが、彼は引きこもっているという噂だ』

しかしシューベルトは、重い病氣のときにも“社交的な喜び”のための作品を書いたのであった。1823年、つまり上

## COMPONENT AUDIO SYSTEMS

いい音さがぞう  
PROJECT 70  
システムコンポーネント



- ステレオチューナー  
TX-6300..... ¥24,800
  - ステレオプリメインアンプ  
SA-6700..... ¥35,800
  - ステレオプレーヤー〈フルオート〉  
PL-A215S..... ¥37,000
  - スピーカーシステム  
CS-F45(2台1組)..... ¥66,000
- 
- ステレオラック ヨコ型 CB-70..... ¥16,000  
タテ型 CB-V7..... 近日発売
  - カセットデッキ CT-3..... ¥49,800

世界のステレオ  
パイオニア®

記の手紙を書いた年、10月のはじめに作品17として4曲の男声合唱曲が出版された。マティソンの詩による「青年の歓喜」シラーの詩による「愛」ザーリスの「輪舞の歌」クルムマッハーの詩による「夜」の4曲がそれである。これらの曲によって、シュレーベルは19世紀全体にわたる男声合唱のひびきの規範を打ち出したのである。愛国的な歌も、詩的な自然描写も、情愛の歌も舞踏歌もある。メンデルスゾーンは、おそらくこれらの曲をモデルに男声合唱曲を書いたのである。

### 「小夜曲」

ドイチェ番号920. 女声合唱用改作の作品番号135.

昨年演奏した「夜の明るみ」に続く1827年の作品で、前作と似ていて、しかもいっそう美しいといわれている。シュレーベルは、女友だちの一人から、フランツ・グリルバルツァーがある女性の誕生祝いに使うために書いたセレナーデのための詩に作曲することを依頼され、アルト独唱と男声合唱とピアノのための作品を書いたのだが、依頼主から、自分には声楽をやっている若い淑女たちを使うことはできず、テノールやバスの歌手は使えないと注意されてはじめて気がつき、合唱部を女声用（ドイチェ番号921）に書きあらためたのだという話が伝わっている。

しかし、第一作の男声合唱用のほうがより美しいのは事実である。恋する若い男の理想像として、低いアルトの声部はテノールよりいっそうデリケートであり、男声合唱のひびきの上に、かすかに波立つ水の空に光る星のように、あわく漂うのである。心をうばうような雄弁な転調と、メロディーの線の安らかな心づかいには、すべての人がまいてしまいうに連いない。おわりの部分のピアノシモの“別れ”は、かすかなユーモアがた、えられており、きき手の心は明るくされるのである。

### 「夜のうぐいす」

作品番号11の2. ドイチェ番号724.

作品11には、この「夜のうぐいす」のほかに「小さい村」(ドイチェ番号 641)と「愛の霊」(ドイチェ番号 741)とがふ

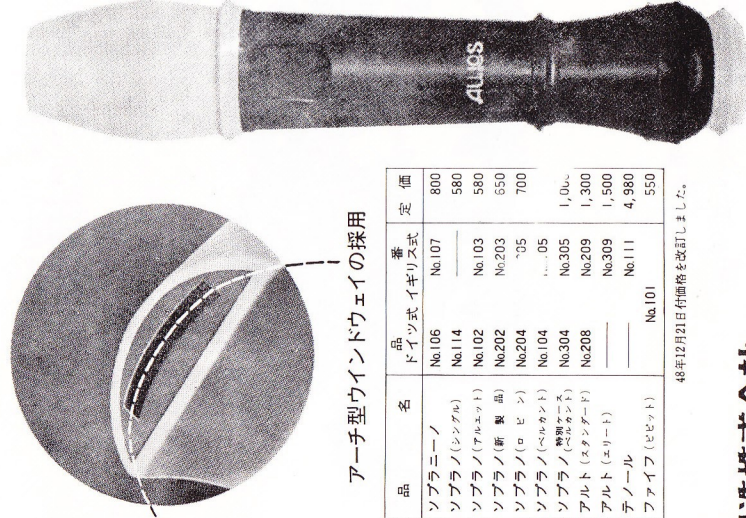
# AUROS® RECORDERS

アウロスの磨きぬかれた音

世界も注目

ALTO ELITE No. 309 イギリス式

- アーチ型ウインドウェイ
- 澄んだ音、快い響き
- 吹き込む息はすべて音になる感じ
- 正確な音程、品質保証



アーチ型ウインドウェイの採用

| 品名          | 品目     | 番      | 定     |
|-------------|--------|--------|-------|
|             | ドイツ式   | イギリス式  | 価     |
| ソプラニーノ      | No.106 | No.107 | 800   |
| ソプラノ(シニア)   | No.114 |        | 580   |
| ソプラノ(アルファ)  | No.102 | No.103 | 580   |
| ソプラノ(断奏曲)   | No.202 | No.203 | 650   |
| ソプラノ(ロビン)   | No.204 | *05    | 700   |
| ソプラノ(ペルカント) | No.104 | ...05  |       |
| ソプラノ(解法)    | No.304 |        | 1,000 |
| アルト(スタンダード) | No.209 | No.209 | 1,300 |
| アルト(エリート)   |        | No.309 | 1,500 |
| テノール        |        | No.111 | 4,980 |
| ファーフ(セット)   | No.101 |        | 550   |

48年12月21日付価格を改訂しました。

## トヤロ楽器製造株式会社

本社 千174 東京都板橋区大原町41番地 TEL.03(960)8301(代表)  
工場 千364 埼玉県北本市宮内1262番地 TEL.0485(41)5451(代表)

## 曲目解説

くまれている。シュレーベルトは1819年11月19日に、4人の歌手によって男声四重唱曲「小さい村」を初演した。ピアノ伴奏付のこの曲は非常に評判がよかったので、彼はさらに同種の作品を書くことになったのである。1821年のはじめにヨハン・カール・ウンガーの詩による「夜のうぐいす」が、ある演奏家のために至急作曲された。

シュレーベルトの研究者で有名な、アルフレート・アインシュタインは、これらの曲の独唱曲的性格は明らかであって、全集版で“男声合唱曲”として公刊されているのは、まちがっている——とのべているが、この「夜のうぐいす」は、実際にはギター伴奏で野外でうたわれたこともあり、社交的性格もまた強くみとめられるので、テノールがや、高域にかたよることや技巧的なパッセージが存在しているにせよ、合唱用に不適当だときめつけるわけにはいくまい。

## 黒人靈歌集

福永陽一郎

18世紀から19世紀にかけて、当時新大陸と呼ばれていたアメリカでは、南部諸州を中心に大農場制が発達するのにもなつて人的労働資源の要求が高まり、アフリカから多くの黒人たちが、奴隷という悲惨な状態のもとに送りこまれたのは、歴史の語るとおりである。また、“言葉をしやべる家畜”となつた黒人たちの悲劇のあつたか、小説やそのほかの文章によつて日本でもかなり紹介されている。白人の側からの理解だけでなく、黒人自身の詩や文学も、いまでは知られているが、アメリカの民族学者が言ったように、アメリカ黒人＝アフロ・アメリカンの生活と思想を知るためには万巻の書をひもとくよりも「黒人靈歌」に耳をかたむけるべきだというのが正しいと思う。

奴隷の悲惨な生活にあつて、彼等を慰さめた唯一のものは「歌」であつた。家財道具さえ満足に持てなかつた黒人たちは、もとより楽器など所有するようになつたのははづつと後のことであるが、労働からはなれることができた夜間、森などに集まつて手拍子を打ちながら歌をうたつた。後世の民族学的研究によれば、黒人たちの歌は、彼等の主たる出身

味とムードと展望と…………

ステーキの店  
**ぼんぼん**

小田原・お堀端通り

ナックビル8階・味の街

電話 0465(22)5693

営業時間 午前11時～午後10時

展望がすばらしい

お城から海へそして懐しい小田原の屋根の波

昼間はこの180度の展望をお楽しみください

ながらお食事ができます

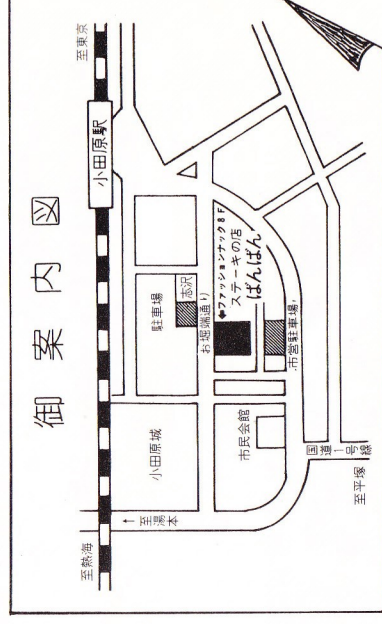
夕方からはライトトーンをおとしキャンダルがつき

エレトーンの演奏をお楽しみくださいながら

ステーキ料理を召し上って下さい

その上キーボルトが原価販売です

御案内



地であったコンゴ地方の伝来の音楽的遺産に、アメリカに来て得た宗教的素材を結合させたものだということである。

キリスト教の伝道は、単に異民族である黒人のためだけに強化されたものではなかった。アメリカ開拓時代の殺伐な社会に対して、キリスト教のビュリータリズムは有効でもあった。しかし実際には、アフリカ人の素朴な原始宗教では自身自身を救済しきれないことを知った黒人たちにとって、キリスト教の多く“自由と平等”は圧倒的な力を持っていた。とくに旧約聖書の「出エジプト記」は現実的な意味を持っていた。しいたげられたユダヤ民族にとっても希望の地であったカナン＝イスラエルは、黒人たちにとっては、奴隷解放の旗じるしをかかげた北部諸州であった。ヨルダン河＝深い河はすなわちアメリカを北部と南部とに分けるミズーリ河やオハイオ河であった。そしてユダヤ民族を安住の地にみちびいたモーゼこそ彼等にとって最大の英雄であり、強者をたおしたヨシユアやダビデはあこがれのままととなつたのである。

もともと現実には北部も彼等にとつての“天国”であり得なかった。この世での安息を得られない黒人たちにとつて“死”だけが“平安”であった。死後にしか安住を見ることができなかつた彼等のふさふさ＝“ホーム”を実感することは、古い昔に奴隷制からはなれたわれわれ日本人には困難なことがらであるが、その理解なしに黒人霊歌をうたうことは無意味である。

### 記

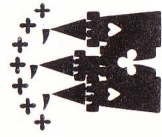
第一回定期演奏会の曲目のひとつであつた多田武彦

作曲『雨』の解説を省略します。

この曲は、今年の秋、小田原男声合唱団の演奏によつて、東芝EMIからレコードが発売されるので、舞台でも再演されることとなりました。

おめでとございます！

小田原男声合唱団 第4回定期演奏会



美しい音楽……美しいパフォーマンス

お酒場のお城  
P.O.P.

小田原駅前にしき通り

# 歌 詞

## 合唱組曲「雨」

### I 雨の来る前

伊藤 整 作詩

ざあっとややって来いよ 夏の雨  
地上のすべてのものは用意している。  
山の麓から低くかぶさってしまつた雲よ。  
夏の緑はうす暗い蔭におおわれ  
物ほしに白いものがかかり  
燕は黒く曇天の下を飛び交い  
人は重い頭をして室にいる。  
降って来いよ 夏の夕立  
その時 始めて人の目はほつと開かれ  
草木も葉を そよがせるのだ。

### II 武蔵野の雨

大木惇夫 作詩

群鳥を追いなながら  
どの土地を濡らしにゆく  
月の夜ごろを掠める雨  
櫟の匂いのふんとする雨  
武蔵野の雨

### III 雨の日の遊動円木

大木惇夫 作詩

雨の日の遊動円木  
びしょびしょ濡れて、ただ光って、  
動くは低い雲ばかり。

雨の日の遊動円木  
鐘が鳴っても、晝やすみでも、  
ゆずぶるものは 風ばかり。

雨の日の遊動円木  
落ちる銀杏葉、ゆうかりの葉  
雀が吹かれて、乗るばかり。

雨の日の遊動円木  
びしょびしょ濡れて、もう日も暮れて  
八っ手の花が 見ているばかり。

### IV 十一月にふる雨

堀口大学 作詩

十一月は うらがなし  
世界を濡らし 雨がふる！

十一月に ふる雨は  
あかつき来れど なお止まず！

初冬の皮膚に ふる雨の  
真実つめたい かなしさよ！

されば木の葉の 堪えもせで  
鶉、鶉も身ぶるいす！

十一月に ふる雨は  
夕暮来れど なお止まず！

されば乞食の いこう可き  
ペンチもあらぬ 哀さよ！

十一月に ふる雨に  
世界一列 ぬれにけり！

王の宮殿も ぬれにけり！  
非人の小屋も ぬれにけり！

十一月に ふる雨は  
夜来れども なお止まず！

逢引のみやび男も ぬれにけり  
みやび女も ぬれそぼちけり！

### V 雨の日に見る

大木惇夫 作詩

冬、ほのぐらい雨の日は  
朱槿が輝く、  
朱槿が……  
これは、眼をひらいて見る夢なのか。

街燈は ぬれている、  
泥靴は 喘いでいる、  
風は雀をふっ飛ばしている、  
人間の後姿はいそいでいる、

歌は絶えている、  
電線は牽っている、  
枯木はふるえている、  
わたしの身体は凍えている  
わたしは祈りをわすれている、  
そうして、わたしはただ見る、  
ほのぐらい雨の影のなかに  
ぼつかり朱槿の浮ぶのを 輝くのを。

### VI 雨

八木重吉 作詩

雨のおとが きこえる  
雨がふっていたのだ。

あのおとのように そつと世のために  
はたらいよう。

雨があがるように しずかに死んでゆこう。



# ぼくが原動力!

## Member紹介

### トップリーダー(T1)

| 氏名     | 勤務先            |
|--------|----------------|
| 大塚 正夫  | 大磯小学校          |
| 片野 孝司  | 国鉄             |
| 加藤 信男  | 富士ゼロックス        |
| 近藤 国正  | 城内小学校          |
| 須藤 肇   | 芦子小学校          |
| 竹下 幸雄  | 山北高校           |
| 長谷川 幸隆 | 県ダム関連事務所       |
| 福井 悌靖  | 富士フィロム         |
| 藤田 靖   | 上野運輸           |
| 堀保 実   | 富士フィロム         |
| 吉田 晃   | 国学院大学生<br>吉田薬局 |

### セカンドリーダー(T2)

| 氏名    | 勤務先                |
|-------|--------------------|
| 青野 正純 | 富士フィロム             |
| 青野 幸夫 | 秦野小学校              |
| 井沼 寛  | 花水小学校              |
| 石橋 泰三 | 二宮小学校              |
| 市野 修一 | 富士フィロム             |
| 加藤 千雄 | 東京理科大学             |
| 可木 敏  | 日立製作所              |
| 川村 明弘 | 鶴が台小学校             |
| 佐々木 純 | キリスト教伝道師           |
| 佐藤 薫  | 富士フィロム             |
| 瀬戸 則一 | 湯ヶ原小学校             |
| 須原 孝  | 日産車体               |
| 坪井 清  | 三国工業               |
| 福井 孝靖 | 富士フィロム             |
| 藤本 慎  | 大磯小学校              |
| 山本 重  | 秦野・日本インター<br>真鶴小学校 |

### バリトン(B1)

| 氏名    | 勤務先       |
|-------|-----------|
| 足利 裕之 | 多賀中学校     |
| 熱田 純  | 富士フィロム    |
| 伊東 邦彦 | 箱根小学校     |
| 板橋 肇  | 井上楽器      |
| 江川 男  | 富士フィロム    |
| 遠藤 昭  | 花水小学校     |
| 太田 勝一 | カネボウ      |
| 小柏 秀  | 昭和音大      |
| 柏次 興  | 県野外教育センター |
| 次下 和  | カネボウ      |
| 下松 秋  | 金属商       |
| 三川    | 岡本中学校     |
|       | 富士フィロム    |

### バス(B2)

| 氏名    | 勤務先       |
|-------|-----------|
| 阿部 年  | 豊田小学校     |
| 井上 忠  | 井上楽器      |
| 亀井 幸敏 | 柄山・カメイ書店  |
| 桑原 敏昭 | 柴沼胃腸・外科医院 |
| 石口 昭  | 白山中学校     |
| 沢谷 宗  | 富士フィロム    |
| 谷水 俊  | 富士フィロム    |
| 水神 秀  | 城内小学校     |
| 辺渡 誠  | 小田原少年院    |
|       | 県工芸指導所    |
|       | 城山中学校     |

## Member紹介

- 常任指揮者
- 副指揮者
- 代表者
- 副代表者
- 運営委員長
- 事務局長
- ヴォイス・トレンナー

- 福永 陽一郎
- 大塚 正夫
- 青野 正純
- 井上 忠彦
- 長谷川 幸雄
- 長谷川 幸雄
- 井上 忠彦
- 松本 和夫

- バートリーダー
- 技術委員
- マネージャー
- 会計
- 広報
- 監査

- T1 吉田 晃
- T2 福井 靖史
- T1 近藤 茂国
- T2 青野 幸夫
- 板橋 正彦
- 渡辺 誠之
- 興石 昭次

- B1 松本 和夫
- B2 坂口 宗夫
- B1 沢川 卓男
- B2 下沢 清邦
- 伊東 利裕之

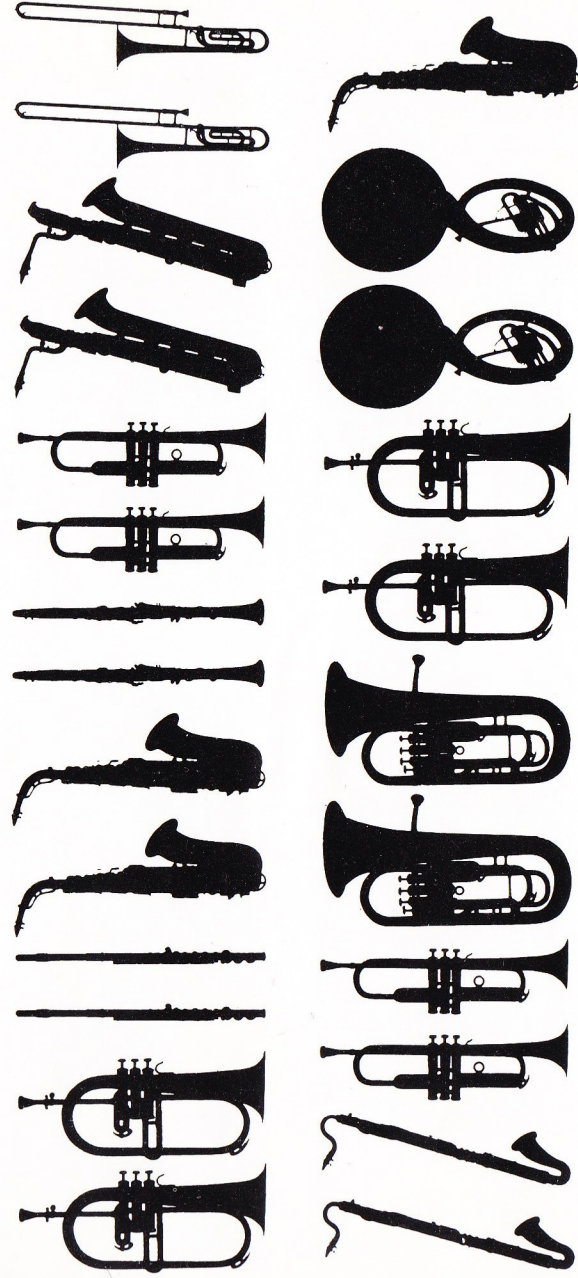
隆

歌う、のむ、ハモル.....こんなあなた(男性)を  
お待ちしております.....!!!!!!

# 団員募集

- 練習日 — 毎週(火曜日・夜7時より9時まで)  
小田原市立城内小学校講堂(命ある限り)
- 練習会場 — 小田原市立城内小学校講堂
- 練習資格 — 満16才より.....(命ある限り)
- 入団資格 — 毎月1,300円・楽譜代200円
- 費 —
- 会 —

■ 入団希望者は事務局(小田原お堀端通り、井上楽器。  
電話<24>0515)または、直接練習日に会場まで  
お出で下さい。



## 取扱商品

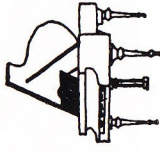
ヤマハ各種楽器、ビクター電子オルガン、ピアノ、オルガン、レスターピアノ、  
アポロピアノ、デアパソンピアノ、シュベスターピアノ、輸入各種楽器、管弦楽器、  
教育楽器、

オーディオ(ビクター、アカイ、パイオニア、ソニー、トリオ、デンオン、コロソピア)  
楽譜、楽書(国内各社、輸入)レコード(各社)

## 音楽教室

ピアノ、電子オルガン、フルート、ギター、他各種楽器

ピアノ・電子オルガン・各種楽器・オーディオ・レコード・楽譜



## 井上楽器

小田原市栄町1-13-36(おほり端通り)

TEL 24-0515(代)

小田原男声合唱団事務局

\*手づくりの良さと

ドイツ レンナーハンマ 6角ワイヤー使用

# レスターピアノ

特約店：井上楽器

小田原 お堀端通り

TEL.0465-24-0515(代)